



12月21日応接室において、剣淵農民連盟から「米・乳製品消費拡大運動」として新米ななつぼし120kg、牛乳400が寄付されました。

この取り組みは、新型コロナウイルス感染症の影響で消費量が減っている米と牛乳の消費拡大を目的に実施されました。

寄付された新米と牛乳は、保育所及び学校の給食に活用され、執行委員長の佐藤宏和さんは「昨年引き続き剣淵町産のお米と牛乳の消費拡大につなげたい」と述べられていました。

12月22日中会議室において、北海道電力株式会社及び北海道電力ネットワーク株式会社と「大規模災害時における相互協力に関する基本協定」を締結しました。

この協定は、災害による停電時の復旧を円滑に進められるよう、情報・施設・資材・機材など相互に提供するなどといった、災害対策の連携を一層強化し対応力の向上を目的としています。



12月28日役場庁舎正面ロビーにおいて、北ひびき農業協同組合から鏡餅が寄贈されました。

毎年寄贈していただいているこの鏡餅は、剣淵町産のもち米を使用しており、総重量約45kgです。三段の鏡餅は三色に色づけられ、上段の赤は太陽、中段の白は農民・町民、下段の緑は大地を意味しています。

早坂町長は「今年は干ばつ等の被害がありました。来年は豊作となるよう願っています」と述べられました。



1月7日剣淵町消防出初式が行われました。消防車庫前において無事故無火災祈願式を行った後、役場前で消防団員による分列行進が行われました。

このほか町民センターで行われた式典では、北海道知事表彰・士別地方消防事務組合管理者表彰・剣淵町長表彰・北海道消防協会長表彰・北消協上川地方支部士別分会長表彰が行われ、佐藤武団長の他述べ41名団員及び消防職員が表彰されました。

